

JMCC通信 vol.47

発行日/2024年 8月吉日 発行/日本医療介護協同組合 〒102-0093 東京都千代田区平河町一丁目7番20号 <https://jmcc.or.jp/> ミャンマーから特定技能2名の入国

2月に面接、内定をいただいたミャンマー特定技能の介護人材が、ようやく7月に来日いたしました。

朝6時成田到着の便で少し疲れていた様子でしたが、笑顔の二人とやっと会えた感動の瞬間でした。技能実習生は空港からそのまま入国後講習の研修所へ向かいますが、特定技能外国人はシンプルにそのまま施設へと向かいます。この日も施設の方が成田へお出迎えに来てくださっていたので、そのまま施設へと向かいました。こちらの施設は、すでに技能実習生、特定技能の方を何人も受け入れてくださっている施設でしたので、スタッフの方の対応も慣れており、施設の説明、案内、全てがスムーズに行われました。施設にはミャンマーの先輩たちがいるので、彼女たちも安心しているようでした。

この日のJMCCの役割は、お二人を役所へ連れて行き、転入手続き、口座開設、勤務で使用するスニーカー購入等のお手伝いや、生活用品を購入するスーパー等を案内し、寮までお連れすることでした。暑い日だったということと旅の疲れもあったようなので、早く寮で休ませてあげたかったのですが、結局寮に着いたのは夕方でした。しかし、3人でいろいろなお話ができる貴重な良い時間となりました。

入国前からラインで連絡を取り合っていました。実際に対面でお話するのでは気持ちのやり取りは違うと感じました。

JMCCは、施設様とは違う立場で特定技能外国人の方をサポートしていきます。



成田に着いたばかりの特定技能外国人の二人。



施設内の説明、案内をしてもらっている二人。



ミャンマー料理@高田馬場

ミャンマーの実習生に、是非ミャンマー料理を食べてもらいたいとお誘いを受け、東京の高田馬場でミャンマー料理をご馳走になりました。今や高田馬場はミャンマー街なのだそうです。今回いただいたのはミャンマーの代表的な料理、モヒンガーとオンノウ・カオスエ、そして濃厚なミルクティー。どれも美味しいです。



施設の方にインタビュー vol.1

実際に技能実習生や特定技能の方を受け入れた施設の方は、外国人を受け入れてどのように思っているか、皆さん気になりませんか？今後実習実施者の施設の方、外国人技能実習生、特定技能の方が実際どのように思い、感じているのかをインタビューし、シリーズでお届けしていきたいと思えます。

今回は千葉の受け入れ施設の技術指導員の方に伺ってみました。

Q1.技能実習生について受け入れる前、どのように思っていましたか？

A. 前例、経験があったので不安などネガティブなイメージはなかった。ひとまず、食事介助と排泄介助を出来るようになってくれれば助かるな。と

Q2. 技能実習生について受け入れる後は、どのように思われていますか？

A. 引き続き指導して成長していただければと思う。

Q3. 技能実習生を受け入れてよかったと思うことはどんなことですか？

A. マンパワーが増えたこと、利用者様との会話や声かけ、ちょっとした雑務などやれることがたくさんあるので助かる。

Q4. 技能実習生を受け入れて悪かったと思うことはどんなことですか？

A. 今は、悪かったことは思いつかない。

Q5.受入れ後の施設の変化はありましたか？

A. 実習生とコミュニケーションをとろうと会話は増えた気がする。実習生にどう指導したらよいか？なども各々考えたり相談しあったりもしている。。

Q6.入居者様の反応はどうですか？

A. 最初はびっくりするがその実習生の出身地などの質問やら会話のとっかかりになっている。

Q7.入居者様のご家族の反応はどうですか？

A. よくがんばっている。と前向きな言葉を頂くことが多い。

Q8.技能実習生に希望することはありますか？

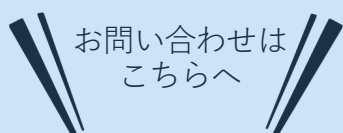
A. 語学をがんばって欲しい。とくに書くことは苦手な方が多い。

Q9.技能実習生と特定技能の方の技能の差はありますか？

A. ない。。



※施設技術指導員様、ご協力ありがとうございました。



東京都病院協会賛助会員



日本医療介護協同組合

<https://jmcc.or.jp/>

〒102-0093 東京都千代田区平河町一丁目7番20号
平河町辻田ビル7F

TEL 03-3221-7010

